

国産 ● 自然塗料

U-OIL

ユーオイル

STANDARD

スタンダード



2012年に一番最初にリリースされたU-OIL第1号の屋内用タイプ

「作業性(速乾性、着色性)」に課題がありましたが、2015年にこの点を改善したハードをリリース。現在は継続的にご利用頂いているお客様のみへの提供とさせて頂いております。(=新規のお客様には、ハードのご利用をお願いしております。)

新築、リノベーション、リフォーム、メンテナンス等にご利用頂けます。

F★★★★★ 相当製品

- 天井
- 床
- 腰板
- 屋内木部
- 家具建具
- ウッドデッキ
- 外壁
- 屋外木部

低臭性	<input checked="" type="radio"/>	速乾性	<input checked="" type="radio"/>	着色性	<input type="radio"/>
耐候性	<input type="radio"/>	化学添加	無		



① 2012年に一番最初にリリースされたU-OIL第1号

亜麻仁油、天然顔料等の自然素材を活用した今のU-OILの原型となる自然塗料です。

② 乾燥が遅く、「作業性」に難あり

乾燥性能に課題があり、油水分が多い、赤身が多い、硬質な木に塗ると乾かないことがありました。

このようにスタンダードは木材によって使いにくい面があるため、現在は使い慣れたお客様へののみのご提供とさせて頂き、新規のお客様には「作業性」を向上させたハードをお奨めしております。

③ 乾燥が遅いため、濃い色付けに難あり

乾燥性能に課題があったため、天然顔料の比率を上げて濃い色付けをするとう色が剥離することがありました。そのため、色は薄めに仕上がります。

④ 塗料の伸びの良さ、基本1回塗りのルーツはここに!

塗料の伸びが良く、1ℓで約20㎡塗装可能です。少量で広い面積を塗装できる、基本1回塗りで仕上がる長所は、そのままハードに継承されております。

⑤ カラーは全35色!

カラーは充実の35色。これを活用することで、木の「デザイン性」を高めることが可能です。このコンセプトは、そのままハードに継承されております。

⑥ 数年後のメンテナンスも楽々!

数年後にメンテナンスを行う際も、塗装面を研磨することなく、直接上から塗装可能。また日々のメンテナンスも簡単に行えます。(▶別紙U-OILメンテナンス方法参照)



XION Co., Ltd
株式会社シオン

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-8-1
TEL: 019-677-7060 FAX: 019-637-3190
E-mail: info@xion.co.jp

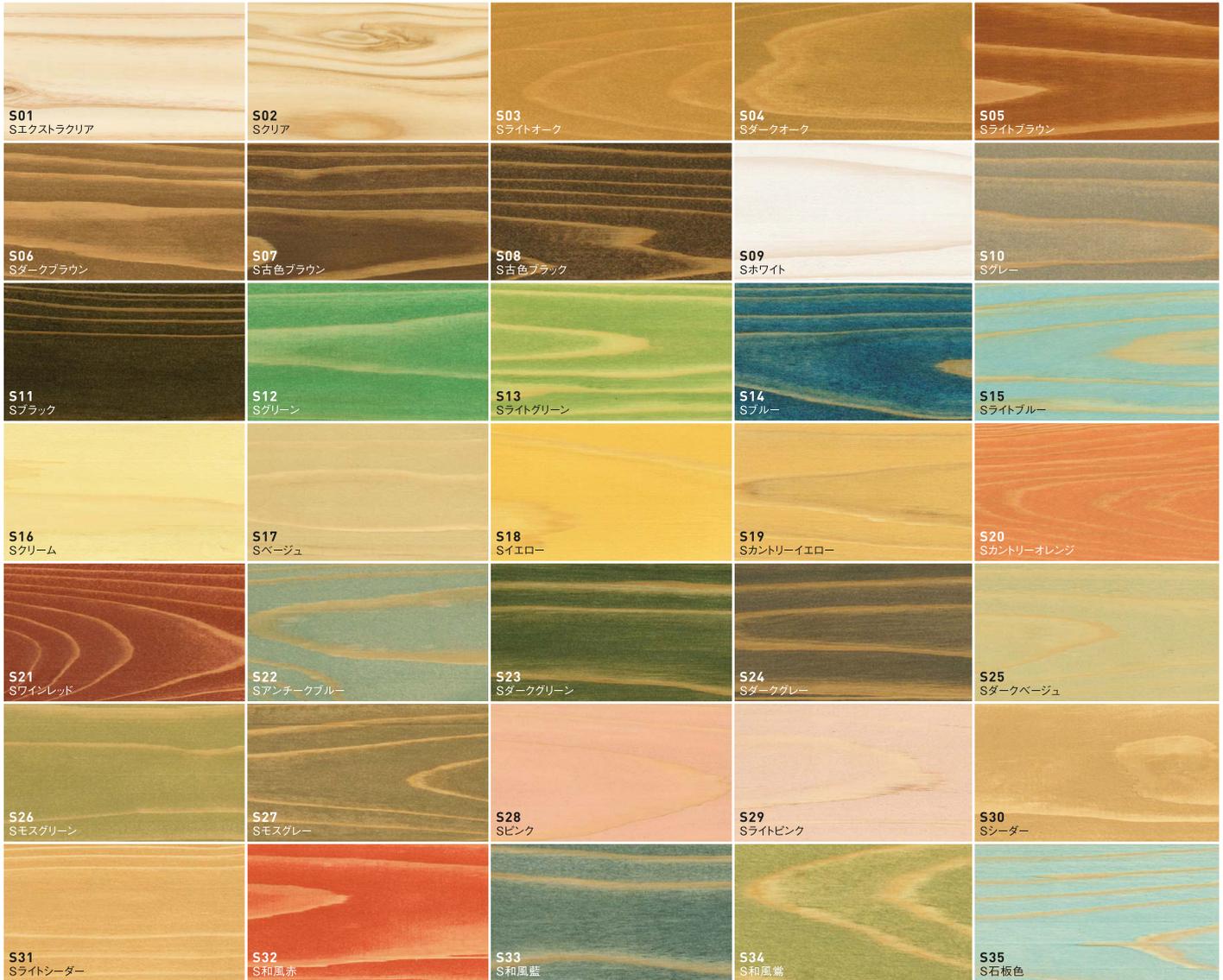
<http://u-oil.jp>

ユーオイル 検索

全35色の豊富なカラーバリエーション

※こちらの色見本は杉材を利用してあります。木材の種類により色の映え方が異なる場合がございます。新規の場合は、基本的にハードを推奨しておりますので、ご利用の際は別途お問い合わせください。

Standard Color [35 colors]



塗装方法	① 塗装時の木の含水率は20%以下で、できるだけ低い数値の木をご利用ください。▶② 原液のまま、またはU-OIL専用うすめ液で10~30%程度希釈してご利用ください。▶③ 原液またはお好みの濃さに応じて希釈し、ウェス(布)に含ませて、すり込みながら拭くと簡単かつ、木目が活き、きれいに仕上がります(推奨塗装方法)。▶④ 乾燥時間は約24時間です。	エクストラクリアとクリアの違い	塗装後の仕上がり	ツヤの有無
		S01:エクストラクリア	透明仕上げ(木の質感を活かす)	ツヤなし~2分ツヤ
		S02:クリア	艶色仕上げ(木に温かみをもたせる)	2分ツヤ~半ツヤ

製品仕様

■ 用途

屋内 木部専用

■ 成分

精選亜麻仁油、紅花油、天然顔料、非石油系乾燥剤

■ 内容量 (塗布量目安) ※1回塗りの場合

- 170ml (3.4㎡)
- 3.8ℓ (76㎡)
- 0.75ℓ (15㎡)
- 9ℓ (180㎡)
- 2.5ℓ (50㎡)
- 18ℓ (360㎡)

■ 標準塗布面積ならびに塗布量

1回塗りの場合、1ℓで約20㎡ (1㎡あたり0.05ℓ)

標準塗布面積ならびに塗布量は、樹種、含水率、塗料の吸い込みやすさ等の要因より異なることがあります。

■ 乾燥時間

ふきとり → 指触乾燥: 約1時間 / 完全乾燥: 約24時間

乾燥時間は、気温20℃、木の含水率20%以下の目安です。塗装回数、樹種や気候条件により乾燥時間が異なります。

■ 臭気

ほぼ無臭です。ご利用される方に安全な製品です。

■ 安全性

国土交通省建築指導課による「告示対象外製品=ホルムアルデヒドの発散がほとんど認められない製品」に相当。さらに、「F☆☆☆☆相当」であることを確認済みです。

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部におけるJIS K 5601-4-1:2003「塗料成分試験方法-第4部:塗膜からの放散成分分析-第1節:ホルムアルデヒド 3.デシケータ法による」を実施し、ホルムアルデヒドの放散量が基準値以下であることを確認済みです。



- 湿度が高い、気温が低い、塗布量が多すぎる等の場合乾燥が遅くなる可能性がございますので、ご注意ください。
- イペ、ウリン等の硬質材のような木材に塗布した場合、塗料が浸透しにくいほか、乾燥が遅くなる場合があります。十分ご注意ください。
- 使用した刷毛、ウェス(布)は水に浸け、水分を含んだ状態で処分してください。(自然発火防止)
そのまま処分すると、植物油が酸化重合する際、熱を持ち、自然発火する恐れがあります。取扱いには十分ご注意ください。